



ボイス メッセージ ポートの数の変更

Cisco Unified Communications Manager および Cisco Unity Connection で既存の連動のボイス メッセージ ポートの数を変更するには、次の手順を実行します。

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでボイス メール ポートの数を変更する

ステップ 1 Cisco Unified CM サーバで、Cisco ボイス メール ポート ウィザードを使用してボイス メール ポートの数を変更します。次の項を参照してください。

- Cisco Unified CM の管理ページで Cisco ボイス メール ポート ウィザードを使用してボイス メール ポートの数を追加するには、適切なバージョンの Cisco Unified CM に関する「ボイス メール ポートを Cisco Unified CM に追加する」の手順を参照してください。
- Cisco Unified CM の管理ページで Cisco ボイス メール ポート ウィザードを使用してボイス メール ポートを削除するには、Cisco Unified CM の管理ページのヘルプを参照してください。

ボイス メッセージ ポートを追加する場合は、P.9-1 の「Cisco Unity Connection の管理でボイス メール ポートを追加する」の手順を実行します。

ボイス メッセージ ポートを削除する場合は、P.9-4 の「Cisco Unity Connection の管理でボイス メール ポートを削除する」の手順を実行します。

Cisco Unity Connection の管理でボイス メール ポートを追加する

ステップ 1 追加のボイス メッセージ ポートが Cisco Unity Connection のライセンスで有効にならない場合は、営業担当者から適切なライセンスを入手してください。

ステップ 2 ライセンスを入手したら、Cisco Unity Connection の管理にログオンします。

ステップ 3 Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] を展開し、[ライセンス (Licenses)] をクリックします。

ステップ 4 [ライセンス (License)] ページで、[ライセンス (License)] メニューの [ライセンスの新規追加 (Add New License)] をクリックします。

ステップ 5 [ライセンスの新規追加 (Add New License)] ページで、[参照 (Browse)] をクリックします。

ステップ 6 [ファイルの選択] ダイアログボックスで、ライセンス ファイルを参照し、[開く] をクリックします。

ステップ 7 [ライセンスの新規追加 (Add New License)] ページで、[追加 (Add)] をクリックします。

- ステップ 8** [ライセンス (Licenses)] ページで、[ステップ 7](#) で追加したライセンス ファイルのチェックボックスをオンにし、**[選択項目のインストール (Install Selected)]** をクリックします。
- ステップ 9** Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[ポート (Port)]** をクリックします。
- ステップ 10** [ポートの検索 (Search Ports)] ページの [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、**[新規追加 (Add New)]** をクリックします。
- ステップ 11** [ポートの新規作成 (New Port)] ページで、必要な設定を入力して **[保存 (Save)]** をクリックします。

**注意**

通話への応答用に設定したポートと発信用に設定したポートの数が適切であることを確認します。この条件が満たされない場合、連動は正常に機能しません。詳細については、「[Cisco Unity Connection によるボイスメッセージポートの使用法の計画](#)」の章を参照してください。

- ステップ 12** Connection Conversation Manager サービスを再起動するように求められたら、次の手順を実行します。求められなければ、[ステップ 13](#) に進みます。
- a. [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、**[Cisco Unity Connection Serviceability]** をクリックし、**[移動 (Go)]** をクリックします。
 - b. [Cisco Unity Connection Serviceability] ページで、[Tools] メニューの **[Control Center - Feature Services]** をクリックします。
 - c. [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、**[Go]** をクリックします。
 - d. [Cisco Unity Connection Services] で、**[Connection Conversation Manager]** をクリックします。
 - e. ページの上部にある **[Restart]** をクリックします。
 - f. サービスを再起動するかどうか確認を求められたら、**[Yes]** をクリックします。
 - g. [Navigation] ドロップダウン リストで、**[Cisco Unity Connection Administration]** をクリックし、**[Go]** をクリックします。

- ステップ 13** Cisco Unified CM 認証および暗号化を使用しない場合は、[ステップ 21](#) に進みます。

Cisco Unified CM 認証および暗号化を使用する場合は、Cisco Unity Connection の管理で、**[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)]** を展開し、**[電話システム (Phone System)]** をクリックします。

**注意**

[サーバの編集 (Edit Servers)] ページで、ボイスメッセージポートが属するポートグループの TFTP サーバが設定されていることを確認してください。設定されていない場合、Cisco Unified CM 認証および暗号化に関して連動は正常に機能しません。

- ステップ 14** [電話システムの検索 (Search Phone Systems)] ページで、Cisco Unity Connection のボイスメッセージポートの認証と暗号化を有効にする Cisco Unified CM 電話システムの名前をクリックします。
- ステップ 15** [電話システムの基本設定 (Phone System Basics)] ページで、[編集 (Edit)] メニューの **[ルート証明書 (Root Certificate)]** をクリックします。

ステップ 16 [ルート証明書の表示 (View Root Certificate)] ページで、[証明書の保存 (Save the Certificate)] リンクを右クリックし、[対象をファイルに保存] をクリックします。

ステップ 17 [名前を付けて保存] ダイアログボックスで、Cisco Unity Connection ルート証明書をファイルとして保存する場所を参照します。

ステップ 18 [ファイル名] フィールドで、拡張子が .htm ではなく .pem になっていることを確認し、[保存] をクリックします。

**注意**

証明書をファイルとして保存する場合は、拡張子を .htm ではなく .pem にする必要があります。これ以外の拡張子にした場合、Cisco Unified CM は証明書を認識しません。

Cisco Unity Connection が Cisco Unified CM 4.x サーバおよび Cisco Unified CM 5.x 以降のサーバの両方と連動する場合は、.pem ファイルを Cisco Unified CM 5.x 以降のサーバにコピーし、.0 ファイルを Cisco Unified CM 4.x サーバにコピーする必要があります。コピーされていない場合、認証および暗号化は正常に機能しません。

ステップ 19 [ダウンロードの完了] ダイアログボックスで、[閉じる] をクリックします。

ステップ 20 Cisco Unity Connection ルート証明書をこの Cisco Unified CM 電話システム連動に含まれているすべての Cisco Unified CM サーバにアップロードするために、次の手順を実行します。

**注意**

Cisco Unified CM 認証をただちに動作させるには、Cisco Unity Connection システム クロックを Cisco Unified CM システム クロックと同期化する必要があります。同期化されていない場合、Cisco Unified CM は、Cisco Unified CM システム クロックが Cisco Unity Connection デバイス証明書のタイムスタンプを経過するまで、Cisco Unity Connection ボイスメッセージポートの登録を拒否します。

- a. Cisco Unified CM サーバの Cisco Unified CM Platform Administration で、[Security] メニューの [Certificate Management] > [Upload Certificate/CTL] をクリックします。
- b. [Cisco IPT Platform Administration] ページで、[Upload Trust Certificate] および [Cisco Unified Communications Manager - Trust] をクリックし、[OK] をクリックします。
- c. [ステップ 18](#) で保存した Cisco Unity Connection ルート証明書を参照します。
- d. 画面の指示に従います。
- e. クラスタ内の残りすべての Cisco Unified CM サーバについて、[ステップ 20a.](#) ~ [ステップ 20d.](#) を繰り返します。
- f. Cisco Unity Connection の管理の [関連リンク (Related Links)] ドロップダウン リストで、[テレフォニーの設定の確認 (Check Telephony Configuration)] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックして Cisco Unified CM サーバへの接続を確認します。
テストが正常に終了しなかった場合は、トラブルシューティングの手順を示したメッセージが [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] リストに1つ以上表示されます。問題を解決した後、もう一度接続をテストしてください。
- g. [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ウィンドウで、[閉じる (Close)] をクリックします。

ステップ 21 Cisco Unity Connection ソフトウェアを再起動するように求められた場合は、再起動を実行します。

ステップ 22 Cisco Unity Connection の管理からログオフします。

Cisco Unity Connection の管理でボイスメール ポートを削除する

ステップ 1 Cisco Unity Connection の管理にログオンします。

ステップ 2 [テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] > [ポート (Port)] ページに移動します。

ステップ 3 [ポートの検索結果 (Port Search Results)] で、削除するボイスメッセージポートの隣にあるチェックボックスをオンにします。

ステップ 4 [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

ステップ 5 必要に応じて、ポートグループに含まれている残りのボイスメッセージポートの設定を変更します。通話への応答用のポートと発信用のポートを、それぞれ適切な数に設定します。

ステップ 6 Connection Conversation Manager サービスを再起動するように求められたら、次の手順を実行します。求められなければ、[ステップ 7](#)に進みます。

- a. [ナビゲーション (Navigation)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Serviceability] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックします。
- b. [Cisco Unity Connection Serviceability] ページで、[Tools] メニューの [Control Center - Feature Services] をクリックします。
- c. [Control Center - Feature Services] ページの [Server] ドロップダウンリストで、Cisco Unity Connection サーバの名前をクリックし、[Go] をクリックします。
- d. [Cisco Unity Connection Services] で、[Connection Conversation Manager] をクリックします。
- e. ページの上部にある [Restart] をクリックします。
- f. サービスを再起動するかどうか確認を求められたら、[Yes] をクリックします。
- g. [Navigation] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity Connection Administration] をクリックし、[Go] をクリックします。
- h. Cisco Unity Connection の管理で、[テレフォニー統合 (Telephony Integrations)] を展開し、[電話システム (Phone System)] をクリックします。

ステップ 7 Cisco Unity Connection の管理の [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストで、[テレフォニーの設定の確認 (Check Telephony Configuration)] をクリックし、[移動 (Go)] をクリックして電話システム連動の設定を確認します。

テストが正常に終了しなかった場合は、トラブルシューティングの手順を示したメッセージが [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] に 1 つ以上表示されます。問題を解決した後に、もう一度接続をテストしてください。

ステップ 8 [タスクの実行結果 (Task Execution Results)] ウィンドウで、[閉じる (Close)] をクリックします。

ステップ 9 Cisco Unity Connection の管理からログオフします。
